

【港北区】令和6年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和6年2月5日 午前10時00分 ～ 午前10時45分
場 所	港北区役所 4階 1号・2号会議室
出席者	<p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議員 : 7名】福地茂議員、大山しょうじ議員、白井正子議員、かざまあさみ議員、酒井誠議員、望月康弘議員、大野トモイ議員</p> <p>【港北区 : 19名】漆原順一区长、卯都木隆幸副区长、北川寛直福祉保健センター長、田畑哲夫福祉保健センター担当部長、奥野雅量土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和6年度港北区予算編成の考え方について 2 令和6年度個性ある区づくり推進費予算(案)について
発言の旨	<p>酒井議員 :</p> <p>災害に強いまちづくり推進事業における、自助・共助の啓発事業のまるとまちごとハザードマップの設置について、現在の進捗状況と、今後の設置計画を伺いたい。</p> <p>吉田総務課長 :</p> <p>まるとまちごとハザードマップについては、令和4年度から事業を開始しており、令和4年度は綱島地区、大倉山地区、令和5年度に新羽地区、城郷地区に設置した。令和6年度は新吉田地区、新吉田あすなろ地区、樽町地区に設置する予定である。その後は令和7年度に大曽根地区、日吉地区、令和8年度に菊名地区、高田地区、師岡地区、篠原地区と順次進めていく予定である。5年間かけて区内の洪水浸水想定区域内に設置し、その後は設置した順番に更新する予定。</p>

酒井議員：

1月1日に能登半島地震があり、津波もあったことから現在区民の防災意識が高まっている。時間が経つと防災意識が薄れていってしまうため、なるべく早く進めていただきたい。

酒井議員：

災害に強いまちづくり推進事業における、避難所等の環境改善及び運営支援の地域防災拠点備蓄倉庫の狭隘化への対応について、今回ワンタッチ式ベッドへ置き換えるということだが、置き換えの計画を伺いたい。

吉田総務課長：

ワンタッチ式ベッドへの置き換えについては、詳細は今後検討するが、可能なところから順次進めていきたいと考えている。

白井議員：

災害に強いまちづくり推進事業における、避難所等の環境改善及び運営支援の地域防災拠点備蓄倉庫の狭隘化への対応について、ワンタッチ式ベッドへの置き換えのほかに、何か置き換えを検討しているものがあるか伺いたい。

吉田総務課長：

具体的には今後検討を進めることになるが、地域の方のご意見をいただきながら、考えていきたい。

白井議員：

災害に強いまちづくり推進事業における、避難所等の環境改善及び運営支援の防災備蓄庫の整理整頓の支援について、総務局の令和6年度予算で狭小な防災備蓄庫を補完するための簡易倉庫を追加設置する予算が計上されていたが、この簡易倉庫を設置できる地域防災拠点は港北区内に何拠点あるのか。また設置の計画等を伺いたい。

吉田総務課長：

総務局事業の基準に合致する港北区内の地域防災拠点は10拠点である。設置計画等は詳細を把握していないが、次年度以降順次進めていくものと考えている。

白井議員：

能登半島地震の状況を見ると、横浜市でも避難所等の環境や運営の改善が必要なことがあると思うので、継続して見直しをしていただきたい。

福地議員：

育もう「ふるさと港北」事業における、新規事業であるまちの魅力動画コンテストについて、企画の内容を伺いたい。

岸本地域振興課長：

令和5年度東急新横浜線開業記念事業として、区の魅力発信ということで「鉄道とともにある街（港北区）の風景」写真コンテストを実施していたが、来年度は動画に変えたいと考えている。具体的な内容は決まっていないが、15秒や30秒の短い動画と、1、2分の長めの動画など、部門を2つに分けて、それぞれ区内の魅力ある動画を区民の皆様に投稿していただき、入賞作品は区のホームページ等で紹介したいと考えている。

福地議員：

例えば中学生のクラブ活動などで、各学校でチームを作って、競うような形を作ったら、それぞれ自分の住む地域の魅力を発信することができるかもしれない。中学生世代こそふるさと意識を持ってもらいたいターゲットだと思うので、このようなアイデアも念頭に置いて取り組んでいただきたい。

大野議員：

ペットの同行避難について、それぞれの地域防災拠点において、取組がどの程度進んでいるのかを教えてください。

北川福祉保健センター長：

港北区内の地域防災拠点には全部で 29 拠点あるが、24 拠点でペットの一時飼育場所を設置しており、8 拠点で飼育のルールも設定をしている。さらに、21 拠点でペット同行避難訓練の実績がある。引き続き多くの拠点がペット同行避難訓練に参加できるように促していきたい。

大野議員：

地域子育てサポート事業における、児童虐待防止対策事業について、保護者向けの児童虐待予防啓発を新たに年 2 回実施するということだが、どのような内容を考えているのか伺いたい。また、令和 5 年度に実施した「こどものしつけってどうすればよいの？」という講演会について、参加者からの声を伺いたい。

丸山こども家庭支援課長：

令和 5 年度に実施した講演会の参加者 63 人のアンケートによると、子どもが癇癢を起こしたときなどの子どもとの関わり方や対応方法についての関心が高かった。この結果等を踏まえて、令和 6 年度はこのような困りごとに対して体罰によらずに対応できるよう、子育ての困りごとに関するニーズに対応できる講座を年 2 回開催したいと考えている。

大野議員：

育てづらさを感じている区民が講座等に来た場合の支援へつなげる流れを伺いたい。

丸山こども家庭支援課長：

行政とつながることができた保護者等については、専門職が関わっていく流れができています。行政につながっておらず、講座等に参加した区民で、困りごとなどがあつた場合は、相談窓口等を案内している。

大野議員：

子どもを保育園に預けていたりすると、親が比較的社会とつながっていて、相談する機会もあると思うが、1歳半健診から3歳健診までの間の期間が長く、その間に子育てに煮詰まる区民もいるかと思う。子育てが大変だからすぐ虐待に結び付くわけではないが、港北区は子育て世帯が多いので、孤立化を防ぐ取組に一層力を入れていただきたい。

大山議員：

区民文化センターが開業するが、現状の綱島駅周辺の状況を踏まえると、区民文化センターでのイベント開催時、特に綱島駅と新綱島駅の間の人の往来に混乱が生じることが懸念されるが、この課題についてどう認識しているか。また、イベント主催者と連携して動線の確保等配慮することはできるか。

柏崎区政推進課長：

地元の区民からも同様の懸念の声が届いており、港北警察署とも協議をしている。港北警察署では新しい道路ができたと同時に、信号の切り替え時間を調整して、人が滞留しづらいように工夫している。

都市整備局綱島駅東口周辺開発事務所とも相談し、イベント開催時等は対応していきたい。

佐藤議員：

個性ある区づくり推進費は区民に一番身近な区役所が、地域のニーズに迅速に対応できるよう創設された経緯がある。しかし令和6年度予算案全体をみると、多くの事業が例年と同内容にとどまっている。個性ある区づくり推進費の自主企画事業のうち、本来局が実施する事業で、区がモデル的に取り組む場合は、3年程度実施してみて、全市展開を検討するというのが当初の流れであった。令和6年度予算の中で具体的にどの事業を見直すべきという話ではないが、住民ニーズは日々変化しているので、既存事業の実施で精一杯ではなく、全市展開が望ましい事業は、関係局に要望していくとともに、区の独自事業については、新たな区民のニーズもしっかりと汲み取り、その内容を反映させた予算をつくるとともに、事業を執行するという意識を持って、進めてもらいたい。

備 考	
-----	--